ふれあいネットワーク

笛吹社協だより かけはし

秋号
第63号
2021年11月発行

基本方針 7つのあい
知りあい
つながりあい
みとめあい
そだてあい
ささえあい
見守りあい
助けあい

詳しくはP10～P11

《特集》ふだんのくらしのしあわせ 各町の活動紹介
～地域福祉推進委員会の活動報告～

密にならないように離れて活動！
小学生から大人まで、 昨年参加された方も多数参加していただきました。

笛吹ローズクラブの皆さんからバラの手入れについて教えて頂きました！

石和町地域福祉推進委員会「夏休みボランティア体験」の様子

子どもたちに地域で活躍しているボランティアの方々から、バラの手入れを通して「地域のために自分ができること」に喜びを感じてもらいました。

目次

P2 ●新理事・評議員の紹介、前会長・新会長挨拶
P3 ●令和２年度事業報告、決算報告
P4 ●善意の寄付・寄贈の御礼
P5 ●芦川地域事務所の取り組み
P6 P7 ●社協のデイサービスが行う地域福祉 ～地域事務所との連携による取り組み～
P8 ●スマイルいちのみや～農福連携～ ●絵手紙交流
P9 ●第14回笛吹市社会福祉大会のご案内 ●正規職員募集のお知らせ ●チャリティーゴルフ大会中止のご報告 ●石和地域事務所移転のお知らせ
P10 P11 特集 ●地域福祉推進委員の活動内容紹介
P12 ●赤い羽根共同募金

発行 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会
住所／〒406-0822 笛吹市八代町南 917 電話／055-265-5182 FAX／055-265-5183
発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 竹内 稔
広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

新たに選任された役員・評議員

理事〈敬称略〉

会長　竹内　稔
副会長　宮澤黎夫　今泉教秋
常務理事　橘田　尚
理事　斉藤義昭　小林真由美　箸本幸子　山下真弥　荻野陽子　保崎邦雄　田草川睦美　荻野　健

監事〈敬称略〉

宮川明史　小池一夫

評議員〈敬称略〉

中村善次　丹澤元美　霜村守久　渡辺裕一　網倉基充　鈴木貴章　雨宮美枝子　星合深妃　植村詔子　天野光江　中村幸弘　飯塚秀子　長田美津恵　古屋修二　丸山久美　西海好治

竹内新会長あいさつ

このたび、早河前会長の後任として、令和3年6月24日から笛吹市社会福祉協議会会長に就任いたしました。微力ではございますが、「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」の実現のため努力してまいりますので皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

さて、近年、福祉分野における法整備が進んでおりますが、8050問題や生活困窮、虐待などの深刻な福祉課題が私たちの身近なところにも増加し、更に新型コロナウィルス感染症への対応などもあり、問題が複雑化・多様化してきました。このような課題解決には住民の皆様のご理解とご協力が必要となります。

私は約20年に亘り民生委員児童委員として活動を継続しており、これまで培ってきた経験やネットワークを生かしながら、笛吹市社会福祉協議会の会長として地域の皆様のご期待に応えられますよう、法人の経営基盤を安定させ、職員の資質向上に努め、行政との連携を強化しながら「支え合う地域づくり」に全力で取り組む所存でございます。地域の皆様のご指導とご協力を重ねてお願い申し上げます。

早河前会長あいさつ

私は、平成18年より評議員を2年、平成20年より理事・副会長に就任し、その後、平成26年より会長を務めさせていただきました。その間、市民、会員、笛吹市、県を始め、あらゆる組織、団体に支えられましたことに心より感謝申し上げます。

在任中はチャリティーゴルフ大会を開催し、多くの市民に参加をいただきました。後援、協賛をいただきました笛吹市、笛吹市議会をはじめ企業、団体、個人に敬意を表します。チャリティー募金は、災害用車両・災害用の器具等に使わせていただきました。

また、複合福祉施設「スマイルいちのみや」は地域の皆様のご理解、協力をいただきスタート出来ました。今後、地域福祉の活動拠点として、地域の皆様にご利用いただきますようお願い申し上げます。

新会長は、長年副会長としてご活動いただき、また民生委員・児童委員協議会の笛吹市及び山梨県の会長も務めておられる竹内稔氏が就任され、新しい役員体制がスタートいたしました。今後、役員・職員が一体になり市民の「幸せづくり」に頑張ってくださいますようご期待申し上げます。

新理事・監事

令和2年度

事業報告

笛吹市社会福祉協議会（以下「社協」）は、「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」を基本理念として、子どもから高齢者まで、障がいのある人もない人も誰もがその地域で生き生きと暮らせることを目指し、地域住民、地域福祉推進委員、ボランティア、関係機関の皆さまと一緒に考え一緒に行動して「地域づくり」を推進してきました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、生活が困窮した方への支援として、厚生労働省が実施した生活福祉資金貸付を行う窓口として、1年間で延べ2千人以上の方に貸付業務を行いました。貸付者のうち今後継続した支援が必要な方々として、ひとり親世帯（母子世帯が9割以上）、高齢者世帯、外国籍の方の存在が認識できました。そこで、ひとり親世帯への支援のために、年末・年度末に「笑顔で新年（新年度）を迎えるじゃん」事業を実施しました。生活の困窮は、経済・経験・交流の貧困といわれています。そこで、年末の事業では、正月用のお餅、年越しそば、みかんに加え正月飾り、当会役職員から寄付を募り、104人のこどもに「お年玉」を贈るなど、少しでも年末年始を感じていただける活動を行いました。子どもの支援活動は、これまで社協の会費と共同募金を原資としていましたが、この活動を大きく膨らますために『あい子ども応援基金』を創設しました。

在宅介護部門においては、ご利用前の検温や体調の報告等、感染拡大防止を徹底したことから、利用者、職員ともに1人の感染者を出すこともなく、在宅生活の支えとなる居宅介護支援サービス・通所介護サービス・訪問介護サービスを提供させていただきました。

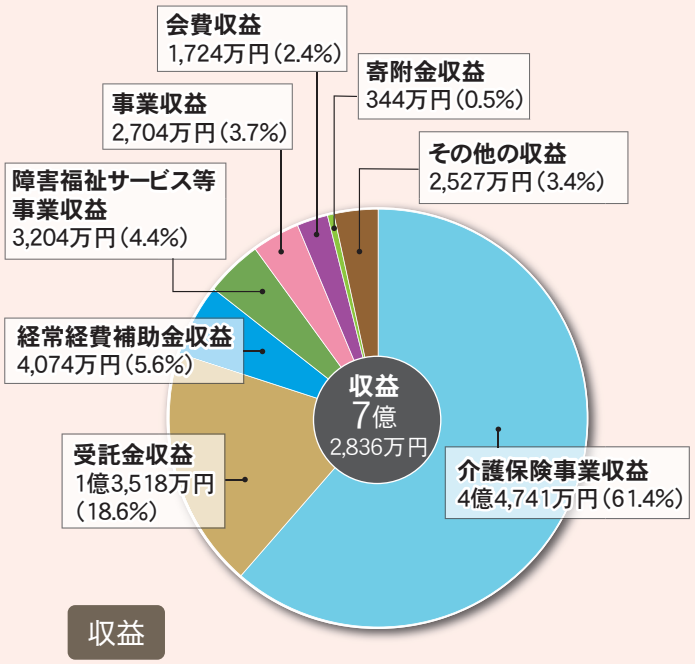
最後になりますが、昨年5月に開設した共生施設スマイルいちのみやは、コロナ禍により、地域住民の方々との交流はできませんでしたが、デイサービスと障がいサービスをご利用している方が、日々声掛けあってお互いがそこにいるのが当たり前の、誰もがその人らしく過ごせる場所を作ることができました。

コロナ禍において様々な制約はありましたが、あらゆる活動はコロナ禍における活動へとシフトチェンジして、多様な形で今できる「社協らしい活動」を追求しながら、応援してくださいました皆様とともに取り組んだ1年でした。

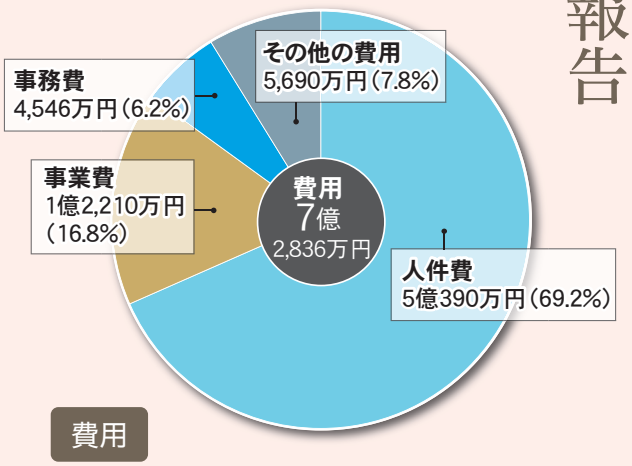
令和3年3月31日

令和2年度

決算報告



収益



費用

※ 内部取引である「事業区分間繰入金収益・費用」、「サービス区分間繰入金収益・費用」は除いて表記しています。
※ 「その他の収益」の中には、当期活動増減差額147万円を含みます。
※ 介護保険事業収益の一部は地域福祉に使われています。
※ 事業報告書及び計算書類等は、当会ホームページ内の「情報公開ページ」にて公開しています。▶▶▶

善意の寄付・寄贈の御礼

※順不同になります（4月～8月）

皆さまからお寄せいただいた寄付・寄贈は
笛吹市の福祉のために活用されています。
皆さまの温かいご協力ありがとうございます。

株式会社ダイナム山梨笛吹店 様 [石和]
>ひとり親世帯への支援のため
　地域福祉推進のため
✤食料品・日用品一式

権守淳一 様 [石和]
>障害福祉の向上のため
✤20,000円

加賀美路子 様 [石和]
>必要とされる方へ
✤手作りマスク489点
（大人用329点,子ども用160点）

マルハン石和店 様 [石和]
>地域福祉推進のため
✤お菓子、日用品7箱

竹内稔 様 [石和]
>地域福祉推進のため
✤100,000円

髙野香織 様 [石和]
>石和デイサービスでの使用のため
✤尿取りパッド4点、リハビリパンツ2点

株式会社田丸 様 [石和]
>ひとり親世帯への支援のために
✤トイレットペーパー100個入４箱

水平リーベ 代表 樋口滝人 様 [石和]
>地域の子ども達のために
✤お米5kg　100袋

佐野修三 様 [御坂]
>地域福祉推進のため
✤新品湯飲み50点

小俣登喜子 様 [御坂]
>必要とする方のために
✤靴下18ｾｯﾄ、肌着1ｾｯﾄ、入れ歯洗浄剤2箱

佐藤かをり 様 [御坂]
>社会福祉活動のため
✤尿取りパット4点、オムツ5点

山梨県職員　御坂会 様 [御坂]
>地域福祉推進のため
✤23,863円

株式会社KFKファクトリー 様 [八代]
>障がい者作業所の利用者のため
✤アイスクリーム（15個ｾｯﾄ）2箱

飯田三郎 様 [八代]
>地域福祉推進のため
✤10,000円

有限会社トラスト・オート 様 [八代]
>地域福祉推進のため
✤5,000円

秋田しず子 様 [境川]
>朗読奉仕活動のため
（インターフェース等機材購入費用として）
✤10,000円

シチズン電子タイメル株式会社 様 [境川]
>地域福祉推進のため
✤炊き出し用ドライカレー50食入3箱

他にも次のようなご寄付をいただきました。
（匿名希望）

✤オムツ2点、ミルク1点、おしりふき5点
✤点字タイプライター1点
✤OS-1(500㎖)95箱、OS-1ゼリー 17箱
✤クッキー209セット
✤マスク15箱
✤ピューラックス18ℓ2箱
✤エチルアルコール水溶液15ℓ
✤知育おもちゃ64点、食品一式
（ひとり親世帯の必要とされてる方へ）

あい子ども応援基金の寄付・寄贈のお礼

水平リーベ 代表 樋口滝人 様 [石和]
✤300,000円

竹内稔 様 [石和]
✤30,000円

飯田三郎 様 [八代]
✤10,000円

芦澤義男 様 [芦川]
✤5,000円

匿名希望
✤100,000円　✤100,000円
✤3,000円、扇風機1点、
トイレットペーパー(6ロール入)1点、
殺虫剤2点,マスク(7枚入)1点

当会前会長の早河正弘様より、1,000,000円のご寄付を頂きました。

今回のご寄付につきましては、「笛吹市社会福祉協議会が、地域福祉の推進により一層励んでほしい」という想いからご寄付をいただきました。「あい　子ども応援基金」として「子ども達の健やかな成長と夢と希望を応援する」事業と高齢者福祉に活用させていただきます。

贈呈式の様子

第 13 回笛吹市社会福祉大会 特別感謝状贈呈表彰者紹介

株式会社KFKファクトリー 様

地域の障がい者のみなさまに社会参加の機会を！

地域貢献として地域の障がい者のために、作業能力や特性に合わせた仕事の提供や、コロナ禍において外出困難な障がい者のために、自社のお弁当の無償提供と、社会参加の機会を提供しています。

「安心して暮らせる
幸せあふれるまちづくり」の
実現をあなたのご寄付で
応援してください

お問い合せ先

本　　所 TEL.055-265-5182　石和地域事務所 TEL.055-262-1267
御坂地域事務所 TEL.055-287-7355　一宮地域事務所 TEL.0553-47-2288
八代地域事務所 TEL.055-265-2240　境川地域事務所 TEL.055-266-5911
春日居地域事務所 TEL.0553-26-3667　芦川地域事務所 TEL.055-298-2170

笛吹社協では、個人の方、企業や団体からのご寄付を本所及び各地域事務所において常時受け付けています。お寄せいただいたご寄付は、地域福祉活動に活用させていただきます。地域や事業所を指定することや、使い道を指定する「指定寄付」も受け付けておりますので、ご寄付が有効に活用されるようにご相談に乗らせていただきます。

知り あい
つながりあい
みとめあい
そだてあい
ささえあい
見守りあい
助け あい

その人らしく地域で暮らし続けるために‥

芦川地域事務所の取り組み

～コミュニティ･オーガナイジングの実践～

笛吹社協は、「こんなまちであったらいいな、安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」を基本理念として、地域の皆様と一緒に地域づくりに取り組んでいます。社会福祉協議会では、令和３年度から武蔵野大学（代表研究者 渡辺裕一 教授）より委託を受け、芦川地域事務所で「コミュニティ･オーガナイジング」の実践を始めました。「コミュニティ・オーガナイジング」とは、「仲間を集め、その輪を広げ、多くの人々がともに行動することで社会変化を起こすこと」を意味しており、地域づくりの方法の一つです。人口が年々減ってきており、高齢化率も 65％を超える芦川地域ですが、安心して暮らし続けるためにはどんなことが必要かを考え、住民の皆様の声を力に変える取り組みを行っていきます。

住民・関係機関との関係づくり

保育園で子どもたちのことについて聞かせてもらっています。

地域の集まりにうかがって、お話を聞かせてもらっています。

地域の声をまとめる

聞き取りから見えてきた困りごと

災害が起きた時

高齢者が増えてきて住民同士の支え合いには限界がある・・
芦川町外に住む家族の協力も得られるように話し合っていこう！

介護が必要になった時

介護保険サービスって何があるの？
地域で使っている人も少ないし、
サービスを使うのには
抵抗があるなあ・・

解決に向けて取り組む

空き家の増加

年々、空き家が増えてきている。
管理が困るけどお盆や暮れは戻ってくるから人に貸せない。
何か活用できる方法はないかなあ・・

自分で運転ができなくなった時

免許を返納したら、移動が不便。
買い物も、移動販売が来なくなったらどうしたらいいだろう。

その人らしく地域で暮らし続けるために

高齢化が進む芦川地域ですが、住民の皆さんが「お互い様」の気持ちを持ち、助け合いながら生活しています。

今ある地域の良いところを残しつつ、５年後、10年後もこの地域で安心して暮らせるようにするために、今後予測される地域の困りごとの解決に向けて一緒に考え、取り組んでいきたいと思います。

社協の地域福祉課は、各町にあります。
P10、P11 で各町の取り組みを紹介しています。

知 り あ い
つながりあい
みとめあい
そだてあい
ささえあい
見守りあい
助 け あ い

地域で安心して暮らしつづけるために

社協のデイサービスが行う地域福祉 ～ 地域事務所との連携による取り組み ～

個を地域で支える体制づくり

社協のデイサービスでは、介護の専門職による支援だけでなく、地域の助け合い活動等と連携し、住民との協働による支援を行っています。また、利用者さんの困りごとにきめ細かく対応するために、地域事務所と連携しながら地域での暮らしを支えています。

デイサービス職員が
利用者さんのお宅を訪問。
ひとり暮らしなど、
気になることが
あるときには
地域事務所と連携し、
地域で見守りができるよう
調整をしていきます。

社協デイサービス

親族が市内におらず、
緊急対応が必要となったり、
自宅に戻ったあとの
生活が心配…など、
ご本人の状況に応じて
支援しています。

連 携

社協地域事務所

地域で安心して生活できるようにするために…

デイサービス利用時だけでなく、自宅に帰ったあとも、地域住民の皆さんや関係機関と一緒に支援しています。

地域の方の想いを受けとめてつくる、つながりづくり

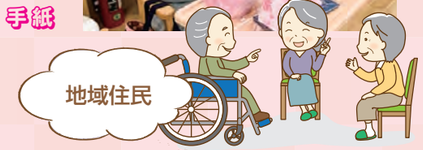
コロナの影響でボランティア活動が出来なくなってしまった…今までとは違う形で何かできないかな…

コロナ禍でデイサービスにボランティアさんが来てもらえない…違う形で協力してもらえないかな…

ボランティア ⇔ 社協地域事務所 ⇔ 社協デイサービス

特技を生かして、 みんなにも
喜んでもらえて良かった！
直接顔を見られなくて残念だけど、
地域の方に喜んでもらえてうれしい。

手作りのプレゼント。
ボランティアさんの気持ちの
こもった手紙も、とっても嬉しい。
またデイサービスにも
ボランティアさんたちに
来てもらいたいわ。



地域事務所と連携しながら、
住民主体の活動を応援しています。
コロナ禍でもできる活動を考え、
ボランティアもデイサービスの利用者さんも、
地域が元気になるような取り組みをしていきます。

石和通所介護事業所

（事業所番号：1971800055）
〒406-0027 笛吹市石和町下平井 578
TEL：055-230-5552

『なごみの湯』に併設されたお風呂は全て源泉かけ流しの温泉を使用しています。寝たきりの方でも温泉入浴ができます。温泉で身も心も癒されると評判です。

一宮通所介護事業所

（事業所番号：1971801418）
〒405-0076 笛吹市一宮町竹原田 40
（スマイルいちのみや）
TEL：0553-39-8502

令和２年５月に開所した複合福祉施設「スマイルいちのみや」内にあり、高齢者・障がい者の福祉サービスの拠点として地域の皆様も含めた多世代交流を通し、役割や生きがいづくりができる事業所です。
（早朝サービス有の事業所）

八代・境川通所介護事業所

（事業所番号：1971800089）
〒406-0822 笛吹市八代町南 326-1
TEL：055-265-2857

ケアプランに基づき、個別や集団での機能維持訓練を行い、「歩けるようになりたい」「トイレに１人で行けるようになりたい」という皆さんの思いや希望をサポートします。

春日居通所介護事業所

（事業所番号：1971800022）
〒406-0005 笛吹市春日居町加茂 77-1
TEL：0553-20-2171

にぎやかに大勢で楽しむ活動や、手芸や作品づくりなどの個別での活動も充実しています。機能の回復に向けて、経験豊かなスタッフがサポートします。
源泉かけ流しの温泉も魅力です。

スマイル いちのみや

社協が行う地域共生社会の実現。
スマイルいちのみやの活動紹介

第３弾!!

つながりあい
みとめあい
そだてあい
ささえあい
見守りあい

農福連携

地元の農家さんの摘蕾・摘果のお仕事

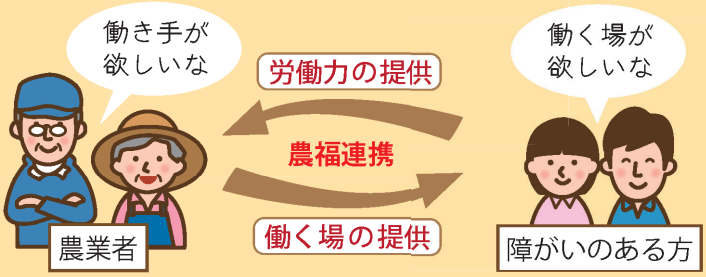
スマイルいちのみや（一宮障害福祉サービス事業所）では、今年度から県の事業である「農福連携」に参加しています。地元農家さんの畑で、桃の摘蕾や摘果作業をさせていただきました。利用者も職員もほとんどがはじめての体験でしたが、農家さんに丁寧に教えていただけたので、毎日楽しくお仕事することができました。

自分たちが摘蕾摘果をした畑の近くを通ると、「大丈夫かなぁ～？ちゃんと桃ができたかなぁ？」と気になり、のぞきこんでいました。

お仕事をくださった農家さんからも“仕事が丁寧でとても良かった”とお褒めのお言葉をいただきました♪

農福連携事業とは？

高齢化などで「労働力が欲しい」といった農業者と、地域で自立した生活をするために「働く場や収入の確保をしたい」といった障害のある方が、お互いにとって有益になるようコーディネイトされた取り組みです。全国各地で広がりをみせています。



お問い合せ
スマイルいちのみや 障害福祉サービス事業所
〒405-0076　笛吹市一宮町竹原田 40
TEL：0553-39-8503

ホームヘルパーのほっこり話

つながりあい
みとめあい
ささえあい

絵手紙交流

令和 3 年 3 月、御坂地域で活動している絵手紙サークル「弥生の会」の方から、訪問介護（ヘルパー）事業所にたくさんの絵手紙が届きました。コロナ禍で活動が出来ない中、訪問介護事業所の利用者の皆さんに絵手紙を通じて元気を届けたいということが始まりでした。

利用者の皆さんは、長引くコロナ禍により外出や友人との交流を控えたり、遠方の家族となかなか会えず寂しい思いをしている方が多くおられます。そのような時に私たちヘルパーが届ける絵手紙は、利用者の皆さんに大変喜ばれました。

受け取られた利用者の方は、額に飾り部屋のインテリアにしたり、絵手紙と一緒に写真を撮って「弥生の会」の方にお礼を伝えるなど、交流が始まりました。定期的に届けられる絵手紙は、心が癒されると利用者の家族からも喜ばれています。現在まで 3 回の絵手紙が届けられ、これからも心安らぐ交流が続いていくことでしょう。

受け取られた利用者の皆さん

【お問い合せ先】
笛吹市社会福祉協議会　訪問介護事業所
TEL: 055-265-5233

第14回 笛吹市社会福祉大会

日時 令和４年 **2**月**3**日(木) 13：30～

会場 笛吹市スコレーセンター（予定）
〒406-0035 山梨県笛吹市石和町広瀬626 -1

内容 表彰状授与、感謝状贈呈
（表彰状：社会福祉活動功労賞、活動ボランティア活動功労賞、ボランティア活動奨励賞）
（感謝状：職員感謝状、金品感謝状、笛吹市社会福祉協議会特別感謝状）

第 13 回大会の様子

令和４年度 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

正規職員募集

総 合 職 1名
社会福祉士 若干名
介護福祉士 若干名

総合職
・4年生大学卒業、又は卒業見込みの方
・社会福祉法人の経営に興味がある方

社会福祉士
・地域福祉に関する理解と創造力 企画力・実践力のある方

介護福祉士
・高齢者介護に意欲のある方

【申込方法】本会ホームページで採用試験要項をご確認ください。
【受付期間】令和3年10月29日(金)から令和3年11月12日(金)まで

笛吹市社会福祉 チャリティーゴルフ大会中止のご報告

このたび新型コロナウィルス感染症に罹患された皆様と、感染拡大により生活に影響を受けられてる地域の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。例年９月に開催しております『笛吹市社会福祉チャリティーゴルフ大会』につきましては、実行委員会で審議した結果、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点と参加者の健康を考慮し、今年度の開催を中止させていただくこととなりました。

笛吹市社会福祉チャリティーゴルフ大会実行委員会

地域福祉課「石和地域事務所」移転のお知らせ

令和３年6月1日（火）から「笛吹市いさわふれあいセンターなごみの湯」内に地域福祉のさらなる推進を図るため、移転しました。今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。

館内にはサロン活動や会議など開催できる活動スペースがございます。
地域のみなさん、お気軽にお立ち寄りください。

〒406-0027 笛吹市石和町下平井578
（笛吹市いさわふれあいセンター なごみの湯 内）
TEL：055-262-1267 FAX：055-262-1207

知りあい
つながりあい
みとめあい
そだてあい
ささえあい
見守りあい
助けあい

地域福祉推進委員会を中心とした
地域づくりの活動を紹介します

ご存じですか？地域福祉推進委員会！

社会福祉協議会では、「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」を基本理念として、住民の皆さまと一緒に「地域福祉活動計画」を策定しています。

この計画には、「各町の取り組み目標」があり、その取り組みを推進していくため、各町に「地域福祉推進委員会」が設置されています。構成メンバーや活動内容は様々で、各町の特徴に合わせて活動をしています。

自分たちの地域を住みよいものにするために、地域の良いところや困っていることなどを共有し、知恵やアイデアを出し合いながら自分たちにできることは何かを考え、地域づくりの活動を推進しています。

今回は、そんな各町の活動の様子をお伝えします。

石和

委員長 坂本　肇

つなげよう、つたえていこう、温かい心　いさわ

石和町地域福祉推進委員会では、「あいさつ・声かけ」「世代間交流」「環境美化」「防災」の４つのグループで推進活動を展開しています。写真は、地域で子どもたちを守る防災学習会の様子、市の防災危機管理課の職員から応急的な対応例など教えていただきました。いざというときに備えて、地域の子どもたちと顔が見える関係づくりが大切であることも再認識することができました。

八代

委員長 今泉教秋

あいさつから始まる　気にかけ支え合える　まちづくり

八代町地域福祉推進委員会では、「あいさつから始める気にかけ支え合えるまちづくり」をサブテーマに取り組んできました。今までの推進委員会では、報告のみで終わってしまうことがあったので、今年度から3グループ（子ども子育て班、高齢者・生活支援第２層班、地域づくり・交流班）に分かれて協議をすることになりました。これから各グループでの話し合いを進め、取り組んでいく予定です。

境川

委員長 宮澤黎夫

境川に住んで良かった～共に支え・生き・歩む 地域づくり～

境川町地域福祉推進委員会では、「自分たちの区のことは自分たちで話し合って決めていく」を基本方針として、各地区で懇談会を開催してきました。「あいさつ・声かけ」「住民同士のつながり（地区行事）」を中心に、自分たちの住む町をより良くするための活動が行われています。

今年度は、第２層協議体と一緒に高齢者の困りごとの解消や子供たちとの交流事業の推進等、幅広く境川町全体の地域福祉について話し合い、活動に取り組む予定です。

あなたの町の身近な相談窓口

本　　所	TEL.055-265-5182
石和地域事務所	TEL.055-262-1267
御坂地域事務所	TEL.055-287-7355
一宮地域事務所	TEL.0553-47-2288
八代地域事務所	TEL.055-265-2240
境川地域事務所	TEL.055-266-5911
春日居地域事務所	TEL.0553-26-3667
芦川地域事務所	TEL.055-298-2170

春日居

委員長 天野寿喜

つづけ！ 笑顔の町 春日居

春日居町地域福祉推進委員会では、推進委員さんが毎朝自宅前で小学校登校時のあいさつ・見守りを行っています。年度当初はあいさつをしない子どももいましたが、あいさつを続けることであいさつが返ってくるようになってきています。また、都合で朝自宅前に出れない時は、翌朝子どもから「どうしたの」との声掛けもあり、長年の活動の成果としてお互いに気にかけ合える関係も出来てきました。

一宮

委員長 蒔田良彦

声をかけ 支え合う町 いちのみや

一宮町地域福祉推進委員会では、活動目標のひとつ『いつでも自分からあいさつをしよう』を町全体に推進していくため、「あいさつで地域との輪を広げよう」と目標を掲げている一宮中学校と合同であいさつ運動を行いました。コロナ禍で住民同士の交流の機会が減っていますが、あいさつの輪が広がり、学校と地域、さらに地域住民同士の繋がりが広まっていくよう、今年度は活動の幅を広げて取り組んでいきます。

御坂

委員長 鈴木利也

となり近所気にかけあって、地域の絆をつなげよう

御坂町地域福祉推進委員会では、住みよい御坂町にするために、地域のよいところ、困っていること等に知恵・アイデアを出し合い、自分たちのできることを共に考え活動をしています。

まだまだ、地域で地域福祉推進委員が知られていないので、地域の絆をつなげていくために**推進委員会の活動をＰＲしていこう！**
＊推進委員が地域でどのように活動しているか紹介しよう。
＊区や住民が行っている活動を広報誌等で紹介しよう。

具体的には…
＊これからの活動を進めるために、区に推進委員をおいて活動を進めていこう。
【今できていることを続けよう】
＊日頃からの挨拶・会話
＊感染症対策を行いながらサロンや百歳体操の継続

芦川

委員長 野澤今朝幸

住民全員がボランティア!!

芦川町地域福祉推進委員会では、「住民全員がボランティア！」をサブテーマに活動を推進しています。「一人暮らしの高齢者が増えてきている」、「週末には家族が来ているようだけど、日中の生活が心配」などの声もあり、住民同士の見守りや助け合いの取り組みを行っています。芦川町は住民同士のつながりが強く、日頃からこのような取り組みが出来ていますが、今後も継続していけるよう検討をしていきます。

まずは、自分の住む町を知ることから！

今年度は、今まで５年間取り組んできた活動を振り返り、次年度から実践する第４次地域福祉活動計画策定に向けて話し合いをしています。地域福祉推進委員をはじめとする住民の皆さまの声を聞きながら一緒につくり、一緒に取り組んでいく計画となります。**自分の住んでいる地域には、どんな良いところがあるのかな？どんな困りごとがあるのかな？**とちょっと関心を寄せていただき、気になったこと、気付いたことがあれば身近な地域福祉推進委員や社協職員に声を聞かせてください。そのちょっとした気づきから、地域づくりは始まります。

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

のご協力をお願いします。

助けあい

今年で75回目を迎える赤い羽根共同募金運動が、10月1日から3月31日まで行われます。赤い羽根共同募金運動は「じぶんの町を良くするしくみ。」として取組まれています。みなさまからお寄せいただいた募金は、誰もが住みなれた地域で、安心して暮らすことができるまちづくり支援のために活用されています。今年も皆さまの温かいご協力をお願いいたします。

昨年度の笛吹市の募金総額は、
皆さまの温かいご支援とご協力により

12,738,044円

となりました。

※2019年10月募金活動の様子

～ 笛吹市では主にこのように使われています ～

コロナの影響により各種の事業は形を変えて行っています。

園児と高齢者の
世代間交流

ひとり親家庭への
食料・日用品の支援

高齢者への見守り活動

地域の防災備品を整備

公民館の備品設置や
公園遊具の修繕

令和3年度募金目標額
13,788,000円

1世帯あたりの目安額って？

目標額を達成するために、1世帯あたりの目安額を設けています。

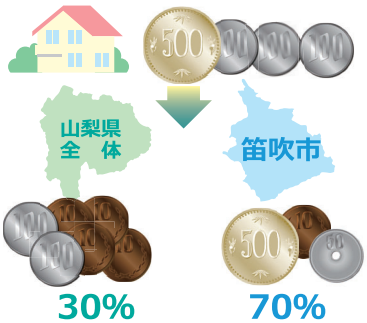
笛吹市の「家庭募金」の目安額は、1世帯 800円です。これは強制ではなく、あくまでも目安ですので募金額は皆さまのお気持ちでご協力いただければ結構です。「家庭募金」は各地域の役員さんにご協力いただき募金活動を行います。

なぜ目標額があるの？

共同募金は、寄付が集まってから使い道を決める募金ではなく、あらかじめ地域の福祉を推進するための要望を受けてから募金を行う「計画募金」です。つまりそれらの事業を実施するためには、ある程度の募金額が必要になり、それが目標額となります。

今年度の要望を具体的に見てみると、笛吹市内各町で開催されているサロンや福祉まつりへの助成、公民館の備品設置、さらに、西日本豪雨などの災害時には、災害準備金を取り崩し、災害ボランティアセンターの開設などの支援をしています。

家庭募金 1世帯800円の使いみち



30%

笛吹市を含む山梨県全体の福祉活動の他、災害時援助準備金や事務費に使われます。

70%

笛吹市内の地域福祉活動に使われます。

ONLINE
携帯電話・スマートフォンからのオンライン募金も受け付けています。

お問い合せ先
山梨県共同募金会 笛吹市支会事務局（笛吹市社会福祉協議会）
〒406-0822 笛吹市八代町南917　TEL.055-265-5182　FAX.055-265-5183